

講演会のお知らせ

今、伝えたい

児童文学作家が語る
夢への道のり

の叶え方

平成29年7月29日土 14時から
(約90分間)

場所 / 和歌山市民図書館 3階ホール

講師 / 嘉成 晴香

テーマ / 今、伝えたい夢の叶え方

対象 / こども(小学校高学年)から大人まで

入場無料

定員: 先着70名

同時開催 平成29年7月20日(木)～8月31日(木)

嘉成晴香さん
おすすめ本



和歌山市民図書館 1階中央カウンター前

嘉成晴香著
新聞連載小説
挿絵展



『星空点呼』『セカイヲカエル』

和歌山市民図書館 3階ステンドグラス前

講師紹介



嘉成 晴香 (かなり はるか)

1987年、和歌山市生まれ。作家、詩人、日本語教師。中学校2年生で、詩集『会いたくなったらいつでも会える』(文芸社)を刊行。2013年、朝日学生新聞社児童文学賞を受賞。受賞作『星空点呼 折りたたみ傘を探して』(朝日学生新聞社)を刊行し、2014年、第43回児童文芸新人賞を受賞。ほかの作品に『セカイヲカエル』(朝日学生新聞社)、『流れ星キャンプ』(あかね書房)。児童文芸家協会会員。

著書紹介



『会いたくなったら
いつでも会える』

著者が最も人間関係で悩んでいた、小学校4年生～中学校1年生の間に書いた詩をまとめたもの。



『星空点呼
折りたたみ傘を
探して』

朝日小学生新聞に連載。小学校5年生の「美咲」と「裕介」、20歳の「高志」が主人公の、和歌山市狐島を舞台にした物語。第4回朝日学生新聞社児童文学賞受賞作。第43回児童文芸新人賞受賞作。



『セカイヲカエル』
朝日小学生新聞に連載。父親の仕事の都合で20年前の町に転校したアヤトと、中学受験をするレンジの物語。現在と過去に別れて暮らす男子ふたりの視点で描いた1年間の成長物語。



『流れ星キャンプ』
川原でキャンプを始めた圭太、それを見ていた入院中の明里、奥さんをなくしたばかりの平井のおじさん。小さな一歩がみんなをつなぐ、ひと夏の物語。作中の星山町のモデルは和歌山市。星ノ川のモデルは紀の川。

問合せ先 和歌山市民図書館 TEL 073-432-0010 和歌山市湊本町3丁目1番地